



日本発生生物学会50年の挑戦

黎明期

実験形態学会 日本発生学協会
代表:市川衛、1939創立 代表:佐藤忠雄
(実験形態学誌,1942~) (Embryologia,1950~)

発生学談話会(東京)
代表:丘英通

1963 連合体結成の試み
日本発生生物学会設立の提唱
1967.5.21

日本発生生物学会発足

1968.5.18 13時~設立総会@立教大学5号館
大会委員長:林雄次郎、議長:江口吾朗

Embryologia (10号まで)から
Development, Growth and Differentiation (11号~)へ
和文誌:発生生物学誌(旧実験形態学誌)

1968. 5.19 第1回大会@立教大学
大会長:林雄次郎、2会場47演題

8月に会長および運営委員選挙
会員数444名
会長:団勝磨、運営委員14名(平均42才)
年会費3000円(和、欧文誌配布)
1600円(和、欧文誌どちらか一誌)
インホメーション・サーキュラー発行(1968.10~)



1969 第2回大会(金沢、木戸哲二)
大学立法に関する反対声明

1970 第3回大阪大会(天沼昭)
(植物生理学会と合同)
DGD編集主幹:梶山正雄

和文単行本発刊
「発生における制御」
その後第7集(1977)まで



1971 発生生物学誌廃刊へ
会費一律4500円に
第4回大会(福岡、川上泉)

1972 第5回大会(東京、古谷雅樹)

1973 第6回大会(京都、岡田節人)
2代会長:梶山正雄

ISDBシドニー大会
1974 第7回大会(名古屋、梶山正雄)
DGD編集主幹:岡田節人

1975 日仏発生生物学会議(東京)
第8回大会(仙台、樋渡宏一)
DGD基金を募る(一口1000円)、556500円集まる
DGDの規定変更:
英、仏、独文から、英文とする(仏、独も許容)
会費値上げ 4500円に

1976 第9回大会(大阪、岡田善雄)

1977 第10回大会(東京、山名清隆・加藤淑裕)
3代会長:団勝磨

学会費6000円に
ISDB東京大会(発生生物学会協賛)

1978 10年目の反省(取りまとめ:江口吾朗)
会員から意見取りまとめ、運営委員会へ答申、
総会で報告(DGDの刊行方法の工夫など)
第11回大会(三島、黒田行昭)
(一会場で開催)

1979 DGDの発行1000部を超える
第12回大会(札幌、原田市太郎)
4代会長:岡田節人

1980 学会事務センターへ業務委託
第13回大会(広島、菅野義信)

1981 ISDBバーゼル大会
第14回大会(京都、藤田哲也)

1982 DGD基金のお願い、年会費8000円に
第15回大会(東京、平本幸男)
DGD編集主幹:山名清隆
岡田節人国際発生生物学会(ISDB) 6代会長に就任

1983 成茂より寄付金(旅費補助に)
The Jean and Katsuma Dan fellowship開始
第16回大会(松山、石川優)
5代会長:加藤淑裕

1984 第17回大会(熊本、藤本十四秋)

1985 第18回大会(名古屋、大西英爾)
一般発表を全てポスターに(126演題)
(ワークショップ、シンポジウム、特別講演以外)
ISDB Los Angeles大会
参加者900名の内日本人70名

1986 会員数756名
DGDの海外頒布をAcademic Pressに委託
為替レートの為依然赤字
DGDマーク入りテレホンカード販売
第19回大会(筑波、渡辺浩)

1987 国際発生シンポジウム@岡崎
Regulation Mechanisms of Developmental Process
第20回大会(京都、米田満樹)
6代会長:安増郁夫
DGD編集主幹:米田満樹
学生会員制度(8000円)、通常会員10000円へ

1988 第21回大会(山形、及川胤昭)
10年目の反省会@山形大会(司会:佐藤矩行)
60名参加
大問題や不満はない、植物に関する発表が減った
DGDが海外で900部頒布



1989 DGD大型化A4に
ISDB Utrecht大会
第22回大会(札幌、片桐千明)

1990 DGDへの大会要旨の掲載廃止
第23回大会(広島、天野実)
DGD編集主幹:片桐千明

第1回加藤淑裕賞

1991 団生物科学国際基金(留学支援)
成茂基金(研究助成)
第24回大会(東京、安増郁夫)
7代会長:江口吾朗

1992 DGD別刷り無料廃止
DGDに関するアンケート
(会費値上げ?、学会から分離?)
第25回大会(横浜、浅島誠)
620名参加、2会場

1993 第26回大会(福岡、山名清隆)
ISDB Vienna大会
科研費複合領域に「発生生物学」

1994 会員数1018名
第27回大会(仙台、井出宏之)
DGD編集主幹:星元紀

1995 DGDをBlackwellに委ねる(編集幹事から出版社へ)
最も引用している雑誌はDev. Biol.、DGDは3位
第28回大会(名古屋、藤沢肇)
8代会長:岡田益吉

1996 ISDBの傘下に入る(それまでは個人でISDBに入会)
MODがISDBの機関誌に
DGDのBlackwell委託により余剰金
第29回大会(京都、佐藤矩行)
3会場参加者614名
ベスト口頭、ポスター発表賞

1997 会員数1326名
DGDテレホンカード完売
ISDB Snowbird大会
10年目の反省へ向けて(Circular No.88)
第30回大会(筑波、平林民雄)
DGD編集主幹:嶋田拓

1998 会員数1398名
第31回大会(熊本、安部眞一)
31回熊本大会で10年目の反省

1999 32回大会(神戸、団まりな)
HPで演題受付、OHPでの発表、3会場(テレビ配信)
9代会長:竹市雅俊

DGDオンライン化

2000 会員数1519名
第33回大会(高知、川村和夫)

年会費クレジット決済
CDB誕生、20名チームリーダー募集

2001 14th International Congress of Developmental Biology



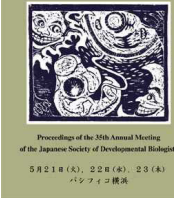
July 8(Sun)-12(Thu), 2001
Kyoto, JAPAN
Kyoto International Conference Hall

第34回大会(京都、竹市雅俊)
ISDBと合同、1498名参加(内400名外国人)
サーキュラー100号、印刷配布終了、HPへ



DGD編集主幹:浅島誠
DGDインパクトファクター1.73

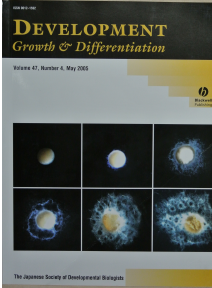
2002 第35回大会(横浜、八杉貞雄)
細胞生物学と合同年会
保育室を設ける



2003 会員数1515名
第36回大会(札幌、若原正己)
10代会長:浅島誠
DGD編集主幹:八杉貞雄

男女共同参画学協会連絡会に加入

2004 第37回大会(名古屋、黒岩厚)
学会事務センター破綻、幹事長阿形清和奔走、事務局担当桃津恵子を学会直接雇用、学会独自のURL
取得、会員名簿管理
DGDの電子投稿受付開始
ISDBへ会費納入



2005 第38回大会(仙台、仲村春和)
725名参加、特別講演2、シンポジウム6、
ワークショップ4、オーラル演題110、ポスター217、
ランチョン5、展示25

APDBNワーキンググループ(CDB内事務局)
年会、DGDをアジア・オセアニアに解放
ISDB Sydney大会、APDBNシンポジウム
学会支援機構に会員情報管理など委託

2006 第39回大会(広島、吉里勝利)
ポスタータイトル、アブストラクトを英語化
大会発表時の英語化に関するアンケート

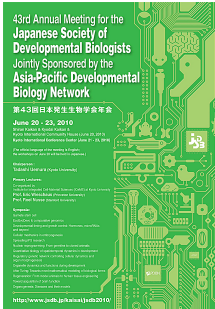
2007 第40回大会(福岡、山村研一)
細胞生物学会と合同、参加者1340名
英語化に踏み出す。男女共同参画シンポ
11代会長:相澤慎一
DGD編集主幹:仲村春和
秋季シンポジウム(岡崎)(対象:若手PI、準PI)
10年目の見直し(HPIに掲載)

2008 第41回大会(徳島、野地澄晴)
ISDBと共催、発表は英語
学生会員年会費3000円に(学会誌配布無し)
学会事務局(桃津恵子)管理へ一元化
国際広報担当(ダグラスシップ)
会計監査法人の導入
第1回サマースクール(乗鞍)(対象:院生・若手PD)
日仏合同年会(Giens)
(参加者約300名、日本から76名)
理科教員研修開始
HPリニューアル
DGD Most Cited, Most Downloaded賞開設

2009 DGDインパクトファクター2を超える
第42回大会(新潟、濱口哲)
ポスター賞

学会運営に関する懇談会
会員名簿電子化
ISDB Edinburgh大会
第2回秋季シンポジウム(三島)
学会声明

2010 第2回日仏合同年会(Paris)
第43回大会(京都、上村匡)
APDBN共催、Excellent presentation award



日米合同年会(Albuquerque)
第2回夏季シンポジウム
(八王子)
ISD/JSDB joint meeting
(Nara)

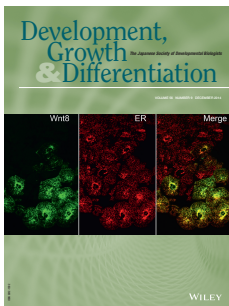
2011 日独合同大会(Dresden)
第44回大会(沖縄、政井一郎)
大会参加旅費支援(東北地区)
12代会長:阿形清和

第3回秋季シンポジウム(岡崎)
2012 日英合同大会(Warwick)
第45回大会(神戸、高橋淑子)
細胞生物と合同、Young Awards
DGD 編集長賞、Wiley-Blackwell賞
APDBN meeting @Taipei
第3回夏季シンポジウム(下田)

2013 会員数1306名
第46回大会(松江、松崎貴)
ISDB Cancun大会
第4回秋季シンポジウム(神戸)

2014 第47回大会(名古屋、日比正彦)
iWAB, Poster Awards
第4回夏季シンポジウム(浅虫)
日西合同年会(Madrid)
DGD impact factor 2.2

2015 第48回大会(つくば、和田洋)
APDBNからも参加費徴収へ、Poster Awards
13代会長:上野直人
DGD冊子対廃止、Impact factor 2.42

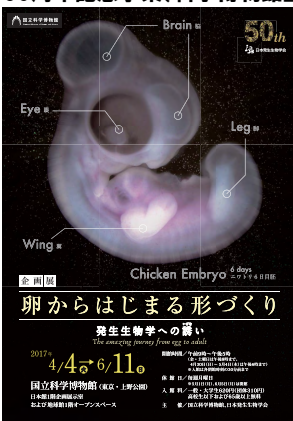


APDBN meeting in 西安
岡田基金(旅費支援)

2016 会員数1188名
第49回大会(熊本、中村輝、震災により中止)
大会参加費返金

FaceBook アカウント取得
東京でJSDB Special symposium
三島で臨時49回総会(三島)
第5回秋季シンポジウム(三島)

2017 第2回日独合同大会(Kiel)
50周年記念事業(科学博物館企画展)



第50回大会(東京、上野直人)
10年目の見直し
ISDB Singapore大会
夏季シンポジウム(三崎)

